

第12回分科会における主なご意見

項目	主なご意見(概要)
共助体制 (安全対策)	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者による除雪作業中の死亡事故について自治体への周知活動など力をいれ実施するべき。 ○雪による死亡事故を長期的にどれくらい減らすか目標をたてるべき。 ○地域外からボランティアを受け入れるだけでなく、地域の中で助け合うことが重要であり、地域に合った形で担い手の確保を進める取組への柔軟な支援をお願いしたい。また、優良事例については、横展開をお願いしたい。 ○雪対策について、高齢化が進んでいる地域をモデル設定して、課題と対応策を国のほうで先行的に調査研究して欲しい。そして、公的ウェイトが高くなるものは、財政支援も検討して欲しい。 ○消防が事故を記録するフォーマットが各自治体で異なるため、何が情報として必要か分析し、各都道府県から共通の調査結果が得られるようにしていただきたい。
空き家対策	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家対策について、地方自治体にとって経済的負担という課題があるので、特段の配慮をいただきたい。
雪冷熱 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ○雪冷熱エネルギーの推進に向け、数値目標を作って欲しい ○雪冷熱エネルギーについて、SDGsの観点で、環境に優しいというブランド価値を見出して、どのように活用するか考えていくべき。 ○雪室で保存した農作物等の食品がどれだけ変わるか分析をするべきである。 ○雪室はまちの活性化や地域の起爆剤になるため、雪冷熱の活用について考えていただきたい。
道路交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○道路除雪費について、国庫支出金は7割程度の実績となっており、総額確保を意識していただきたい。 ○間口除雪に対する要望が強い。 ○流雪溝が地域コミュニティ形成上有効だが、社交金が不足し一般財源に頼らざるを得ない。 ○除排雪を担う建設業の育成、存続は重要で、機械の更新への補助がほしい ○道路交通確保のため、集中豪雪時の地域とのコミュニケーション、連携がとれるシステムづくりが必要である。 ○スタックのメカニズムが不明であり、通行止めや集中除雪の判断が難しい状況であるため、本格的に考えていただきたい。 ○車両の撤去などの過去の記録を教育用のアーカイブとして作成し、周知を行うべきである。

項目	主なご意見(概要)
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ○地域維持型契約の導入について数値目標をたてるべき。 ○除雪オペレーターの確保のため、建設業の振興が重要。
観光	<ul style="list-style-type: none"> ○第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では関係人口をキーワードとしているため、インバウンドなどの観点から雪を体験できる自治体の取組に対し、支援をいただきたい。 ○雪が資源であることに着目して、何ができるかパッケージとしてまとめるべき。
技術開発	<ul style="list-style-type: none"> ○Society5.0とスマートな除雪あるいは利雪に鑑みて、技術開発面での配慮をいただきたい。 ○現在の屋根ふき材は滑りやすいので雪国向けの滑りにくい屋根ふき材の開発・屋根面での断熱するような方法に変える等の課題が残る。 ○屋根雪は融かすだけでなく、落とすなどエネルギーコストが低い方法もあるため、技術開発に対する支援やモチベーションを高めて欲しい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の間口除雪対策として、融雪に係る電気代の軽減について検討いただきたい。 ○集中的にエリアを特定した天気予報の発表は、観光客の入り込みに大きく影響することから検討いただきたい。 ○(新千歳空港の事例を教訓として)欠航時の旅客へのサービス体制について考えるべきである。 ○施策のうち手応えのありそうなものなどについて、国民にアピールするような形での効果計測が必要。 ○都市部で雪が降り、車の渋滞が発生することにより、買い物に困難となることもあり、降雪予報時に食材の確保を促すなどしていく必要がある。 ○歴史的な災害を調べ直して、現代に生かせる災害対策を考えて欲しい。 ○文化財の管理は高齢の住職・神主の方が行っている場合が多いため、文化財の継承・保全に対しても何がしかの対策をお願いしたい。